



センス・オブ・ワンダーと社会

- 研究はどこから生まれどこへ向かうのか -

2019.9.26 Thu. 18:00-20:30

● 参加費：1,000円

● 定員：先着20名

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追求するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を昨年4月に始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

趣旨

「なぜだろう?」「このことについてもっと深く知りたい!」——多くの研究は、個人の知的探究心が出発点になっています。他方、「人類の叡智のために」「課題解決のために」といった言い回しに見られる通り、研究は公共性のある営みという側面を持ち、私たちの社会の発展を支え、物心両面での豊かさをもたらす役割を担ってきました。また、様々な研究者が脈々と積み上げてきた“終わりの無い建造物”に、新しい煉瓦を積む行為を研究だと考えるなら、それは総体として美しくなければ後世まで残らないかもしれません。今回のサロンでは、大阪大学で活躍する複数分野の研究者の話題提供を手掛かりに、「研究」という営みの価値、魅力と危うさ、今後のあり方などについて議論します。

プログラム

- 18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授
- 18:10 各分野の研究の問いや活動実態・生み出される価値などに関する話題提供
 - 伊東信宏 文学研究科教授 / 音楽学
「声を出すこと(音を立てること)によって、人間は何をしてきたか? 何をしているのか?」
 - 和田昌昭 情報科学研究科教授 / 数学
「社会にとって現代数学の研究は必要か」
 - 谷口正輝 産業科学研究科教授 / バイオナノテクノロジー
「基礎研究から社会課題解決まで: 単一分子科学における挑戦」
- 19:10 ディスカッション(モデレーター: 木多道宏 SSI企画調整室長・工学研究科教授)
- 19:40 食事をとりながらのダイアログ
- 20:30 終了(21時までには退出)

